

会場案内図

1. 「実物資料」展示コーナー

- ① 塩津港遺跡（人骨・骨角器など）
- ② 松原内湖遺跡（土器・石器など）
- ③ 番場・播沢遺跡（土器など）
- ④ 脇館遺跡（土器など）
- ⑤ 三津屋遺跡（陶磁器：紅皿・土瓶など）
- ⑥ 上砥山遺跡（種子・土馬など）
- ⑦ 榊差遺跡（土器など）
- ⑧ 福満遺跡（縄文土器・鍛冶遺物など）
- ⑨ 蜂屋遺跡（瓦・石製品など）

2. 「整理作業」見学コーナー

- ★注記（整理室）
- ★復元（整理室）
- ★実測（製図室）



塩津港遺跡の展示品から。

シカの角に→
開けられた
「四角い穴」
何のために
開けたの？



←これは人の
「アゴの骨」
です。実は
他にも…!?



江戸時代の「〇〇」です。
どこに展示してあるのか、
みつけれられるかな？

★「ミリョク発見隊！」に挑戦！★

- ① まずは、展示資料や作業の様子を、じっくり観察！
- ② 一番「きれい」「かわいい」「かたそう」「やわらかそう」「重そう」「軽そう」「気持ち悪い」「こわい」「触ってみたい」などなど、あなたのお気に入りのミリョクを選ぶ。
- ③ 選んだミリョクを、後からくる方に伝えるようにわかりやすく「ふせん」にメモ！
- ④ その「ふせん」を、展示資料や作業のようすが見にくくならないように工夫しながら、窓ガラスに貼る！

他の人が見つけたミリョクもよくみてみよう。きっと新しい発見がありますよ！

★『触れられない』今だからこそ、じっくり「観て」みよう！

安土城考古博物館には、滋賀県内の発掘調査で見つかった出土品を整理・調査する部屋があります。スタッフによる地道な作業が日々積み重ねられ、その結果、滋賀県の新たな歴史が紡がれていきます。その部屋の様子を、「文化の日」目前の2日間限定でじっくりお見せします。もちろん、現在整理作業中の発掘調査で出土した遺物も展示します。

ただし、今回は、全て「触れられません」。毎年夏に開催していた「あの遺跡は今！」では、みなさんに、本物の出土品や作業の様子を直にご覧頂き、あるいは実際に体験して頂きました。しかし、コロナ禍の今、「感染予防」の観点から、「体験」や「直接触れる」などの「濃厚接触」が難しくなっています。そこであえて、今回は「ガラス越し」に、全てをご見学頂くように思います。ぜひ、「のぞき」に来てください！そして、今だからその「触れないもどかしさ」をぜひ実感してください。



私たちは文化財をおとして
ゆたかな滋賀づくりに貢献します。

整理室公開事業/埋蔵文化財整理調査成果報告会

あの遺跡は今！ PART.27

親子でドキドキ？！ “ヴァチャログ!?”で感じる考古学

ヴァチャル（「触れられない」仮想的な世界）風のアナログ（「目の前に実在する」）世界をのぞく!

とき：令和2年10月31日（土）・11月1日（日）
午前9:00～午後5:00

ところ：滋賀県立安土城考古博物館内
回廊展示【公益財団法人滋賀県文化財保護協会 調査課安土分室】

※新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、
回廊からの「ガラス越し」の見学のみとなります。

主催：公益財団法人滋賀県文化財保護協会
共催：滋賀県 後援：彦根市・草津市教育委員会

●QRで知る近江●

滋賀県文化財
保護協会の
最新の情報！



調査員が語る
オススメの
逸品！



一風変わった
近江
歴史の旅！



●今回紹介する遺跡の位置●



わきだて
脇館遺跡 (東近江市)

佐々木六角氏の居館跡「小脇館」もしくはそれに関連する遺跡だと考えられています。今回の調査では、3条の柱列や井戸跡などが見つかりました。柱列の周りからは、鎌倉時代～室町時代頃の土器などが見つかっていて、小脇館に関連するものの可能性が考えられます。



みつや
三津屋遺跡 (東近江市)

調査地周辺には、中世から江戸時代以降、近代にかけて、まわりには田畑が広がり、多くの溝や素掘りの井戸が造られていました。そして、深くて大きい「謎の穴」が整然と60基以上掘られ、また埋めていた可能性があることも分かりました。



はちや
蜂屋遺跡 (栗東市)

古墳時代・飛鳥～奈良時代・平安～鎌倉時代・室町～安土桃山時代・江戸時代の遺構・遺物が多数確認されています。なかでも、飛鳥～奈良時代にかけての「瓦」には、奈良の法隆寺に使われた瓦と同じ模様の瓦が出土し、新聞紙面を賑わせたのは記憶に新しいところかも知れません。



かみやま
上砥山遺跡 (栗東市)

飛鳥時代～奈良時代の川跡、掘立柱建物などが見つっています。川跡からは、多数の土器や木製品、石製品のほか、墨書土器や、木簡を転用した琴柱、土馬など「祭祀」に用いられたと考えられる遺物も見つっています。



さかきざし
榊差遺跡ほか (草津市)

飛鳥時代から奈良時代の竪穴建物や掘立柱建物、井戸、のほか、古代の「長舎」といわれる巨大な掘立柱建物や、奈良時代以降の道路状遺構などを確認しています。また、これらに伴う大量の土器が出土し、当地域における人々の暮らしの一端が明らかになりました。



● 整理作業中の遺跡紹介 ●

しおつこう
塩津港遺跡 (長浜市)

平安時代から鎌倉時代の港や神社に関わる多くの遺構を確認しています。またこれらに伴って、「起請文木札」などの木製品や土器が、大量に見つかり、それらとともに様々な「骨」も見つっています。当時のようすが、徐々に浮き彫りになりつつあります。



まつばらないこ
松原内湖遺跡 (彦根市)

縄文時代から江戸時代に至る、様々な遺構・遺物が見つっています。特に中世～近世の集落跡からは、多数の柱穴や、石組井戸や土坑、区画溝などが見つっています。当時の土地利用のあり方が、徐々に明らかになりつつあります。



ふくみつ
福満遺跡 (彦根市)

弥生時代～古墳時代の竪穴建物、飛鳥時代～平安時代の掘立柱建物や溝、井戸、縄文時代から平安時代の川跡なども見つっています。それらに伴って、縄文時代から鎌倉時代の土器や石製品など、様々な遺物が多数見つっています。



はんば はりさわ
番場遺跡・播沢遺跡 (日野町)

播沢遺跡では、古墳時代の土坑や、古代の川跡、中世の掘立柱建物などに伴って、土器などの遺物が見つっています。古代の川跡からは、刀の形をした木製品が出土しました。お祀りの道具で、上流から流れてきたものと考えられます。

